

基本理念

自他共に幸福な人生を切り拓き、未来の創り手となる力を育む

- 武蔵野市で育つ子どもたちは、これからの社会を支えていく大切な存在です。子どもたちは、一人一人が輝く様々な可能性を秘めています。そして、本市が大切にしてきたコミュニティを支える一員でもあります。
- 一人一人の子どもたちには、自己の能力を最大限に生かし、自分の意見や意思をもって考え、自ら判断し、自ら行動する未来を切り拓く力が必要となります。
- 本市では、このような子どもたちを育成するために、今までも大切にしてきた生きる力を育む教育やセカンドスクールをはじめとする特色ある教育を一層推進するとともに、子どもたちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力などを十分に身に付けられるよう、保護者や地域と一層連携・協働して、活気ある教育活動を展開していきます。
- 今後、子どもたちが、生涯学び続け、社会の変化に主体的に向き合い、多様な他者と協働しながら自らの可能性を発揮し、よりよい社会と自他共に幸福な人生を切り拓き、未来の創り手となることができる力を培ってけるよう、この基本理念に基づいて武蔵野市立学校の教育の充実を図っていきます。

基本的な考え方

これからの時代に求められる資質・能力を育む教育

- これからの学校教育には、将来の社会の在り方を見据え、子どもたちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築できるようにすることが求められています。
- 子どもたちが、主体的に、対話的に、深く学ぶことによって、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて理解したり、生涯にわたって能動的に学び続けたりするために必要な力を育むことが重要です。
- 子どもたちがどのような職業や人生を選択するかにかかわらず、どのような場所で生活しようとも、変化を前向きに受け止め、人間ならではの感性を働かせて、人生や社会をより豊かなものにしていけるよう、必要な資質・能力を育みます。

自己肯定感を高める教育

- 子どもの健やかな成長のためには、確かな学力に加え、豊かな心を育むことも必要です。日本の子どもたちの自己肯定感は、諸外国と比べて低いという調査結果が示されています。また、子どもを取り巻く環境には、いじめ、不登校、貧困、国籍など、様々な状況があります。
- 子どもたち一人一人が豊かな人生を送っていけるよう、自他のかげがえのない価値を認識しながら協働し、様々な分野に積極的に挑戦し自分の可能性を高められるようにすることが求められます。自己肯定感を育成していくことは、子どもたちが学ぶ意欲を持ち続け、生涯を豊かに生き抜いていくために必要と考えます。
- 子どもたち一人一人が、他者から謙虚に学ぶ姿勢を大切にしつつ、自らの力の向上に向けて努力したり、自分のよさや可能性を認識して「自分らしさ」を見失うことなく、安心する環境で他者と協働して、自らの力を最大限発揮できるよう自己肯定感を高める教育を推進します。

多様性を力にする教育

- これからの社会のあり方として、一人一人が多様な個性や能力を発揮し、新たな価値を創造し、互いの強みを生かし認め合い、人が人としてより幸せに生きることのできる多様性に富んだ社会を築いていくことが求められています。
- 子どもたちは、将来、多様性を前提とした社会で生き抜いていくことになります。
- 学校で学ぶ子どもたち一人一人は、異なる背景をもっています。様々な背景をもつ子どもたちが一緒に学ぶ公立学校は、互いのよさを生かして協働する力や優しさや思いやりなどの人間性に関するものなどを幅広く育める強みをもっています。
- これからの社会で子どもたち一人一人が幸福に生き抜けるよう、公立学校の強みを生かし、多様性を力にする教育を進めます。

学校・家庭・地域が相互に連携、協働した教育

- 学校が目的を達成するためには、家庭、地域社会との連携を深め、学校内外を通じて子どもたちの生活の充実と活性化を図ることが大切です。
- 学校が適切に情報発信し、理解や協力を得て子どもたちにとって大切な学習の場である地域の教育資源や教育環境を一層活用したり、家庭や地域の皆様の学校運営などに対する意見を的確に把握して教育活動に生かしたりしていくことが必要です。
- 子どもたちの未来を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成するため、子どもたちに育てたい資質・能力を学校と地域社会が共有するとともに、PTA や地域社会の持続性を踏まえ、家庭や地域社会が担うべき役割を明確にし、家庭や地域社会が担えるよう、学校と相互の意思疎通を十分に図ることが必要となります。
- よりよい学校教育を通して、よりよい社会を創ると同じ理念を学校・家庭・地域が共有し、相互に連携・協働して子どもたちを育てます。